

日本音楽知覚認知学会 理事会議事録

理事会 (1996.11.16 大阪大学)

出席者：難波精一郎、大串健吾、桑野園子、井口征士、小谷津孝明、田口友康、津崎実、中山一郎、村尾忠廣、荒川恵子、山崎晃男

1) 前回理事会議事録が確認された。

2) 次期会長候補者として、難波精一郎、大串健吾の両氏が推薦されたが、難波精一郎氏の辞退により大串健吾氏に決定された。ただし、会長は2期程度続けて務める方が好ましいとの意見も出されたため、現会長在任期間が1期であったことを前例とはしないとの確認がなされた。

3) 平成9年度春季研究発表会について桑野常任理事より説明があり、5月17日、18日(18日は予備日)に小川容子氏を世話人として鳥取大学で開催することが決定された。

4) 非会員への学会誌の配布について、年間購読料として年会費相当額を徴収した上で配布することを決定した。また、当学会および学会誌について情報を提供するために、当面各大学図書館に無料で学会誌を配布するとの決定がなされた。

5) 山崎幹事より平成8年度会計中間報告がなされ、次の点について留意することを確認した上で了承された。

- ・今後会計年度の考え方をより徹底すること。
- ・報告書内に、既収支分と今後の収支見込み分を合算した欄を設けること。

6) 山崎幹事より会員数現況報告がなされた。

7) 山崎幹事より学会誌第2巻の編集作業状況が報告された。

8) 学会誌査読者について、氏名の公表をめぐる論議がなされ、

・公正な査読を保证するための匿名性と査読に対する信頼を得るために必要な公開性という2つの条件を鑑み、査読委員会を組織しその氏名を公表する、との方針が確認された。

また、査読者の責任を鑑みれば、査読後投稿者からの要請があれば投稿者に対し査読者の氏名を公開することも必要であるとの指摘、および学会誌としての査読の方針を明確にする必要があるとの指摘がなされ、今後の検討課題とすることとなった。

9) 会計状況の改善のため、次の提案がなされ了承された。

- ・年会費未納者に対する再度の年会費振替用紙送付をおこなう。
- ・新入会員の獲得に努める
- ・法人会員等の収入源を検討する。